

社会福祉施設 3
さつき障害者作業所

まず、はじめに、「障がいのある人も働いているのだ」ということに驚きました。

今まで支援学校を卒業してからどうなるのだろう、親元で暮らしていくのだろうと思っていました。しかし、この施設で働く“仲間”は、自立を目指しており、できることを働くことを通して増やしていつているのだと知りました。

また、障がい者を社会で救える制度や法律があることも知りました。社会全体で障がい者を支え、障がい者も同じように働き、障がいのある人もない人も同じように分けへだてなく暮らしていく大切さを感じました。他にも、作業所だけでなく、グループホームやその人の障がいの重さに応じた様々な施設があることも知りました。

今回の5日間の体験で、私の中で障がい者に対する見方が大きく変わりました。障がいを持っていても「同じ人間である」ということをあらためて強く感じました。また、コミュニケーションは言葉によるものだけではないということも学びました。言葉が話せなくても、顔の表情や行動、紙などでコミュニケーションがとれるということです。そして笑顔がとても大切だということを強く感じました。ここで学び感じたことを大切に、たくさんの人々の理解へつなげていきたいです。本当に多くの事を感じ、考えさせられた体験でした。